

麻田ひさみ 県政レポート

略歴 ●川西市議会議員2018年10月当選 ●兵庫県議会議員2023年4月当選(文教常任委員会)



ご挨拶

兵庫県議会議員として1年が経過しました。昨年は、文教常任委員会に所属し、県内各地の教育現場を調査しました。中でも、不登校については喫緊の課題だと考え川西市が先進的に進めてきた多田中学校のほっとルーム(校内サポートルーム)を調査しました。文教常任委員会で、兵庫県全体で校内サポートルームの進めることを提案・要望し、県内での校内サポートルームの設置が進んでいます。

本年4月、地元の日生地域に、川西市・猪名川町の知的障がいの

児童・生徒を対象とする兵庫県立カリヨンの丘特別支援学校が開校しました。それに先立ち、2月の一般質問で、特別支援学校に在籍する児童生徒の自立や社会参加を支援するため、地域との交流活動を深めることについての県の考えを問いました。藤原教育長からは、地域との交流・連携を一層推進し、特別支援教育への理解促進と共生社会の実現を図っていくので、引き続きの応援をお願いしたいとの答弁でした。

今年度は、総務常任委員会副委員長、公明党議員団の政務調査副会長として、皆様のお役に立てるよう全力で取り組みます。

第367回 6月定例県議会 公明党議員団の代表質問に登壇しました

① 人口減少社会における持続可能性を高める新たな地域創生戦略について

- (1) 新たな地域創生戦略における視点
- (2) 持続可能性を高めるDX支援

② 個別避難計画の作成促進について

③ 困難な問題を抱える女性への支援について

④ 働く人を守るカスタマーハラスメント防止対策について

⑤ 水素社会実現に向けた取組と今後の展望について

⑥ 鳥獣被害対策について

⑦ 教員の働き方改革について

⑧ 自転車の交通違反を交通反則通告制度の対象とすることへの対応について

こちらの二次元コードから質疑中継(録画)が視聴できます。



困難な問題を抱える女性への支援について



【質問:麻田】

生活困窮や性被害、DVなどに苦しむ女性を支えるための「**困難な問題を抱える女性への支援に関する法律**」が本年4月1日に施行されました。従来の婦人保護事業では対処が難しく、特にコロナ禍で非正規雇用の女性の困窮や家庭内DV、自殺の増加が問題となっていました。この新法は女性への支援の構築を目指し、民間支援団体との協働を掲げていますが、**女性相談支援員を配置しているのは県内41市町のうち19市のみ**です。県の取り組みについて伺います。

【答弁:斎藤知事】

新法に基づき、「ひょうご困難な問題を抱える女性への支援計画」を策定しました。この計画では、相談支援の強化、安全確保、支援体制の確立、関係機関・民間との連携、教育・啓発の推進を柱にしています。市町での女性相談支援員の設置を目指し、国の補助制度の活用や相談対応スキル向上研修、県立女性家庭センターによる指導助言を行っています。また、民間支援団体との協働を推進し、相談から自立支援、通訳者派遣、団体立ち上げ経費やオンライン相談経費の補助も行います。

【質問:麻田】

市町での女性相談支援員の配置が進まない背景を踏まえ、県が主導して進めるべきです。民間支援団体も重要な役割を担っています。特に「**六甲ウィメンズハウス**」などの住宅支援が必要です。民間支援団体との協働や財政支援について知事の見解をお聞かせください。

【答弁:斎藤知事】

「ウィメンズハウス」の取り組みは重要であり、県営住宅を活用したステップハウスも運営しています。民間団体に対しては立ち上げ経費やオンライン相談経費の補助を行う予定です。運営費補助についても検討が必要と考えています。

【コメント:麻田】

支援が長続きするよう、民間団体との協働の中で必要な支援を共に進めていくことを望みます。

鳥獣被害対策について



【質問:麻田】

野生動物による農林業被害が深刻であり、令和4年度には約4億7千万円の被害が発生しました。特にシカやイノシシなどが人里に出没し、農作物への被害が増えています。被害対策としては、**地元猪名川町でもまちづくり協議会を中心に防護柵の設置や共助の取り組みが行われていますが**、さらなる対策が必要です。AIやICT技術の活用、新しい技術の導入を含めた総合的な対策が求められます。県の現状と今後の取り組みについて伺います。

【答弁:服部副知事】

県は鳥獣別の管理計画の下で総合的な被害防止対策を進めています。行動把握では、GPSや小型カメラを用いた追跡調査やセンサーカメラを活用しています。出没対策では、超音波装置の実証や花火による追い払いを行い、捕獲ではICTわなやドローンを活用しています。

今後もAIやICTを活用した新技術を積極的に導入し、地域と協力して効果的な対策を進めます。県立総合射撃場を活用し、狩猟者の確保・育成にも努めます。

【質問:麻田】

鳥獣被害が横ばい、また県内でも**クマの出没が増えている**現状について、課題と対策をお伺いします。

【答弁:服部副知事】

現在の対策がシカなどの増殖に追いついていないため、被害が横ばいの状態です。狩猟者の減少も課題であり、狩猟センターでの育成を強化します。新技術の導入と狩猟者の育成により、被害抑制に努めます。



【コメント:麻田】

県は新技術を積極的に取り入れています。野生動物の増加に応じた効果的な対策が必要です。分析を進め、計画策定を強化してください。

令和6年度 带状疱疹ワクチン 接種費の助成が実現

带状疱疹は、加齢とストレスなどの免疫低下により50歳以上で発症しやすく、炎症や痛みを伴い80歳までに3人に1人が発症し、約2割が带状疱疹後神経痛になるといわれています。公明党議員団は、県民からの带状疱疹後遺症に苦しむ切実な声を受け、これまで5度にわたり本会議での質問を繰り返し、当初予算申入れ等でも要望をしまりました。

兵庫県は令和6年度带状疱疹ワクチンの接種費を助成する市町に対する補助事業を実施します。

带状疱疹ワクチン接種費助成について

兵庫県	川西市	猪名川町
接種費補助事業 	申請用紙またはオンラインで申請 	申請用紙を提出 

猪名川町 紫合北ノ町(県道68号) 歩道を整備

街路樹は、夏の日差しをさえぎり、排気ガスや騒音をやわらげ、ドライバーの視線を誘導し道路沿いの環境を守ります。しかし、成長した街路樹の根は、歩道を盛り上げるくらいの根上りし、落葉樹は清掃に困る、雨上がりの時に歩道いっぱいの落ち葉の上を歩くと滑りやすく危険との苦情が寄せられ、高木の伐採と歩道整備が実現しました。



地域政策要望会

公明党は毎年、兵庫県議会議員のいない地域を尋ね、市長・町長から地域課題などを伺うために「地域政策要望会」を開催しています。今年も、淡路、丹波、但馬、西播磨地域5カ所、12市5町と意見交換をしました。地域のお声を一つ一つカタチにできるよう取り組みます。



多田小学校視察・調査

県内の教員不足は、深刻です。また、業務過多もあり、働き方改革も求められています。このような中、多田小学校では、令和5年度より学年担任制を導入しています。西門校長先生より、経緯と内容について伺いました。きっかけは、産休の代替教員にも影響を及ぼす教員不足で人手不足だったこと。学年担任制のメリットは、子どもたちがたくさんの教員と関われる、複数の視点で子ども理解が広がる、教員が休んでも影響が少ないなど。デメリットは、教員間の共通理解に時間を要する、一人に関わる時間が減少するなどです。1年経過した学年担任制について、児童も概ね歓迎ムードで馴染み、教師の働き方改革にもつながっているとのこと。調査したことを踏まえ、教育環境の改善に取り組みます。



ひょうご県議会だより 高校生WEB版

県内高校生が兵庫県議会について取材し、その内容を紹介します。令和5年度より、WEB版にリニューアルしました。

ひょうご県議会だより高校生WEB版

こちらから



令和5年度は雲雀丘学園高校からLGBTQについての取材をうけました。

取材記事

こちらから



滝川第2高等学校稲山未来さんから取材を受けている様子。(6月18日)